

令和5年度 学力スタンダード指導計画・報告書

教科：(公民) 科目：(現代社会) 対象：(第3学年 1組～7組)

科目担当者：(A組：□山 印) (B組：□山 印) (C組：□山 印) (D組：◇川 印) (E組：◇川 印) (F組：◇川 印)

| | |
|------------|---|
| 教科・科目の指導目標 | 人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに、自ら現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。 |
|------------|---|

| | 高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果 | 分析結果を踏まえて検討した指導内容 | 指導体制の確立 |
|------|--|---|---|
| 年度当初 | <p>日本史・世界史の学習状況から、</p> <p>1 個々の事象についての理解力は高いが、体系的、時系列的理解が苦手であり、習得に時間がかかる。</p> <p>2 社会への関心は決して低くはないが、単発の知識にとどまり、知識、教養としてなかなか定着していかない。</p> <p>3 意欲はあり、知的好奇心はもっている。授業に取り組む姿勢はできているが、思考を深める作業は個人差が大きくある。</p> | <p>1 基本用語を正しく理解させ、政治や経済の基本的なしくみから知識を定着させる。</p> <p>2 身近な事象を事例として取り上げ、生徒の経験に関連する現象を考察、理解できるような指導の工夫を行う。</p> <p>3 写真、図版、意識調査、資料などを読み取り、文章で説明できる力を育むために、ICT機器等を活用した学習を行う。</p> | <p>教科会にて、下記の指導方針を確認した。</p> <p>1 基本用語については、授業中や小テスト等で、学習の振り返りをする機会を設け、理解度を定期的に確認する。</p> <p>2 授業では、資料集や実物教材等を有効に活用し、生徒が具体的なイメージをもって学習に取り組めるような工夫を実施する。</p> <p>3 授業では生徒が自分の考えを記述する場面を設け、自分の言葉で学習内容を説明させる機会を設ける。考查においては、記述式や選択式の問題を出題し、解答の状況を分析することで、生徒の表現力の向上を目指す。</p> |

| | 生徒の変容 | 生徒の学力の定着状況 | 次年度に向けた指導体制の改善 |
|-----|-------|------------|----------------|
| 年度末 | | | |